

# 大東町山田地区の上水道竣工



山田配水池

7月16日、大東町北部水道未普及地域解消事業により、念願の上水道施設が完成した山田地区の竣工式が行われました。

山田上水道施設整備促進協議会の武田伸二会長が、「70余りの世帯が井戸水を使う自給の生活で水不足に困る状



協議会の武田会長

況だったが、これからは安心して生活できる」とあいさつ。

来賓であいさつした内田副市長は、「安心、安全の上水道を1日も早く全世帯に引き込んでほしい」と地区住民に呼びかけました。

家庭内への引き込みを済ませた住民は、「水の勢いが全然違う。お風呂が早くたまるようになったし、洗濯も早い。何より安心」と上水道の効果を実感されているようでした。

衛生的な水と安定した水量が確保され、当地域の生活基盤の安定化が図られたことは大変喜ばしいことです。

衛生的な水と安定した水量が確保され、当地域の生活基盤の安定化が図られたことは大変喜ばしいことです。



## ビジネスチャンスの創出に

### 第1回雲南市企業間交流会を開催

8月8日、雲南市産業振興センターの主催による第1回雲南市企業間交流会が開催され、企業の代表や行政関係者らが意見交換などを行いました。

当市の産業創出プロデューサー三木善弘氏（島根三洋電機株式会社）が開催を提案し、同センターが行う企業間ネットワーク事業への参加企業約40社のうち「ものづくり」企業21社が出席。溝口善兵衛島根県知事による講演会・意見交換会が催されたほか、会場となったホシザキ電機株式の工場見学や交流会の今後にあり方についての運営協議も行われました。

溝口知事は、島根県の産業振興について、現状や今後の展望及び県が推進する施策などの概要を説明。企業誘致のための工業団地造成、産品PRのための都市部へのアンテナショップ設置、県内の工業製品や農産物などの販路拡大に向けた取り組みなどを紹介しました。

これに対し企業側からはたくさんの意見や提案が出されました。県外から進出した企業の代表者は、「島根県の対応にはスピード感がない」と弱点を指摘し、「結果にとらわれず、まず実践すること」と対応・支援の即行性を求めました。一方で「県民は非常におくゆかしく、仕事も熱心である」と地



元雇用者の働き振りを高く評価し、「優秀な人材が豊富であるという長所を前面に、企業誘致を行ってはどうか」と提案。そのほか、商品の輸送や営業活動を容易にするための道路網整備を求める声も多く寄せられました。

雲南市産業振興センターでは、企業間の情報交換や連携を図り、市内産業のさらなる発展へつなげていきたいと考えています。

## 雲南ニュース

8月5日、島根県消防操法大会が益田市で開催され、県内各地から出場した35チーム（ポンプ車10チーム、小型ポンプ25チーム）が、猛暑の中、訓練の成果を競いました。

雲南市消防団からは小型ポンプの部に大東



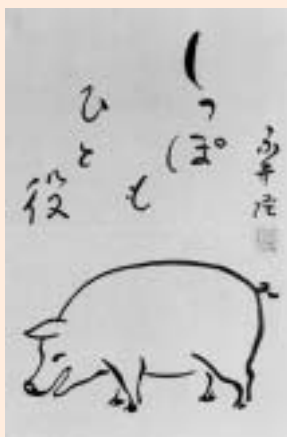
大東方面隊佐世分団

方面隊佐世分団、木次方面隊温泉分団、掛合方面隊多根分団が出場し、大東方面隊佐世分団が4位入賞を果たしました。

### 「平和を」の都市宣言のまち

### 永井隆博士生誕100年 シリーズ⑥

今年は、永井隆博士生誕100年の年にあたることから、博士が残した恒久平和と隣人愛のメッセージを振り返り、顕彰していきます。



ブタのしっぽは小さいけれど、なかつたらおかしいですね。何の役にも立っていないように見えるしっぽでもなくてはならないものです。

博士は、「人間誰もがきつと何かの役に立っている」ことを伝えたかったのではないでしょう

永井隆記念館 ☎0854-45-2230

8月8日、平和を訴えて走る「反核平和の火リレー」のランナーが市役所を訪れ、影山副市長に平和な社会の実現に向けてのメッセージを手渡ししました。これをうけ、影山副市長は、ランナーの労をねぎらうとともに「『平和を』の都市宣言にふさわしい取り組みを推進する」とあいさつ。

「平和を」の願いが一人でも多くの人に届くことを願います。



## 第51回 島根県消防操法大会